



《表紙の風景》
沼津駅北口駅前広場
(静岡県沼津市)
JR沼津駅北口の旧国鉄跡地を活用して、公共施設の整備、高次都市機能の集積を図ることにより、魅力ある都市環境を創出します。平成14年に供用開始した駅前広場はユニバーサルデザインにも配慮しており、沼津駅北口の新たな交流拠点として活用されています。

編集後記

地方都市の中心市街地活性化が叫ばれて久しいものがあります。しかし、生き物である都市にあっては、期待されたさまざまな施策も功を奏しているとは言えない状況です。

しかし、ようやく都市の中心市街地の基盤を形づくっているものは、商業機能だけでなく、あらゆる世代の市民の住まいの場、仕事や学びの場、そして健康や楽しみの場の総和であることが再認識されはじめました。いち早く行政、市民、事業者が協働して、公共交通機能の整備や、公益施設・福祉施設・住宅などの都心回帰の方策をすすめることによって、中心市街地の再生を図る都市が生まれてきています。

動き出した新しい中心市街地活性化法にも後押しされ、ことしは「まちなか再生元年」ともいふべき転機を迎えたといえるのではないのでしょうか。本号はこれらの都市の中心市街地「まちなか」にスポットをあて特集としました。ご高覧いただければ幸いです。

季刊「ユアールプレス・春号」
Vol.11(2007年4月)
発行 独立行政法人都市再生機構
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1
横浜アイランドタワー
Tel. 045-650-0881
Fax. 045-650-0889
編集・制作 (株)日本経済社
(株)リブアソシエーツ
印刷 光写真印刷(株)

平成19年度 年度計画について

平成19年度のUR都市機構年度計画が決定いたしました。各種事業に全力で取り組んで参ります。

UR都市機構は、平成21年3月31日までに達成すべき業務運営に関する中期目標に基づき、年度計画を策定しております。中期目標において、UR都市機構が実施する事業は以下の4項目に分類されております。

- 1 都市再生への取り組み
- 2 良好な居住環境を備えた賃貸住宅の安定的な確保等
- 3 ニュータウン整備事業等の早期完了
- 4 サービスの向上に向けた取り組み

UR都市機構は、平成19年度年度計画において、各項目について次のような取り組みを行って参ります。

1 都市再生への取り組み

都市再生拠点の重点的な整備

大都市における都市再生拠点の整備

- ・民間の都市開発事業を支援するコーディネートの実施
北仲通北地区等 75件程度
- ・各種事業を活用し、民間投資を誘発する基礎的条件としての基盤整備・敷地整備の実施
事業実施 110地区 / 面的整備完了 50ha程度 / 敷地供給 25ha程度
- ・民間投資を誘発する関連公共施設の整備
蘇我臨海地区等 8地区

地方都市における都市再生拠点の整備

- ・中心市街地活性化基本計画の策定等をはじめとする地方公共団体のまちづくりへの取り組みなどの地域の実情に応じ、地方都市再生の推進を図るためのコーディネートを実施
直方市古町・須崎町地区等 30件程度
- ・各種事業を活用し、民間投資を誘発する基礎的条件としての基盤整備・敷地整備の実施
事業実施 4地区 / 面的整備完了 2.1ha
- ・民間投資を誘発する関連公共施設の整備

密集市街地等の整備改善等による都市の防災性の向上

- ・国における制度の充実等を踏まえた取り組みの実施
- ・防災環境軸の整備
- ・防災公園の整備 堺市鳳南町三丁目地区等 9地区

都市再生に資する都市公園の整備

下松スポーツ公園等 18箇所

民間事業者による良質な賃貸住宅ストックの形成等

- ・民間事業者によるファミリー向け賃貸住宅の供給を支援するための敷地の整備を実施
梅田五丁目等 1,000戸程度

2 良好な居住環境を備えた賃貸住宅の安定的な確保等

既存賃貸住宅ストック等の再生と活用

- ・ストック総合活用計画を拡充し、団地毎の特性に応じた効果的な再生・活用方針を新たに定める
- ・まちづくりと一体となった建替事業、リニューアルによる住宅性能の向上、既存賃貸住宅の活用による高齢者支援等を行う
(建替実施) 赤羽台地区等 80地区 / (建替完了) 藤井寺地区等 14地区
(整備敷地供給) 23ha

賃貸住宅の適切な管理等

- ・居住水準の向上等

3 ニュータウン整備事業等の早期完了

ニュータウン整備事業

- ・ニュータウン用地の供給・処分 (供給・処分) 500ha程度
- ・中止・縮小を含めた抜本的な事業計画の見直し及び徹底したコスト削減の実施
- ・「安心・安全」等のまちの魅力向上を図る取り組みを推進

4 業務遂行に当たっての取り組み

地域住民・地方公共団体、民間事業者等との緊密な連携推進 環境への配慮

- ・バリアフリー化の推進
- ・住宅性能表示の実施
- ・調査研究の実施、技術力の維持向上



大都市における都市再生拠点整備
(豊洲二・三丁目地区)



ニュータウン整備事業【地方都市】
(佐野新都市地区)



コーディネートによるまちづくり支援
(防府駅てんじんぐち地区)



既存賃貸住宅ストックの再生
ヌーヴェル赤羽台
(上:建替前 右:建替後)



ニュータウン整備事業【大都市圏】(流山おおたかの森駅南口)



小野理事長



会場の様子

投資家等説明会を開催しました

1月29日(月)、東京・大手町KDDIホールにて借入金金融機関、債券投資家、アナリスト等を対象に投資家等説明会を開催しました。UR都市機構では設立以来1月と7月に定期的に説明会を開催しており、今回は約80社120名の参加がありました。

今回の説明会では、平成18年度損益見込みおよび平成19年度に賃貸住宅ストックの新たな再生・活用戦略を策定することを明らかにするとともに、UR都市機構の事業の取組み状況やニュータウ

ン用地の処分状況などの経営改善計画の進捗状況、平成19年度予算についてなどの説明を行いました。

UR都市機構の経営に関する事項に関しては金融機関等から常に注目を集めており、機構においても投資家等説明会をはじめとして、今後とも、社会の要請に応えるIR活動に、より一層取り組んでまいります。

IR情報は、HPをご覧ください。

<http://www.ur-net.go.jp/ir/>